

2 成長

アオリイカの成長については、市場調査による体長測定およびマス網、建干網で漁獲された漁獲物について調査した。体長組成については図-2に示した。

9月には、体長は5~30cmの範囲にあってモードは10cm~20cmにある。10月にはモードは15cm~20cmに移動する。12月には測定数が少なくモードははっきりしないが、10cm~15cmおよび25cm~30cmの2つのモードが見られるようになる。1月には10cm~20cmおよび20cm~30cmの2つのモードがみられる。3月にはモードは10cm~20cmにある。アオリイカの産卵については後述するが、3月~10月までに数回にわけておこなわれるので、体長組成の変化からその成長をみるのは困難であるが、この体長組成の変化から推察すると、アオリイカは1年で30cm~40cmに成長するようである。

2 産卵生態

産卵生態については、購入資料による生殖腺調査および聞き取り調査を主として実施した。

聞き取り調査によると、アオリイカの産卵期は4月~9月で、波の静かな海域で、イソバナ(ウミマツ)、スキの根、海藻、平らなサンゴ礁の裏面に主として産卵附着されるようである。

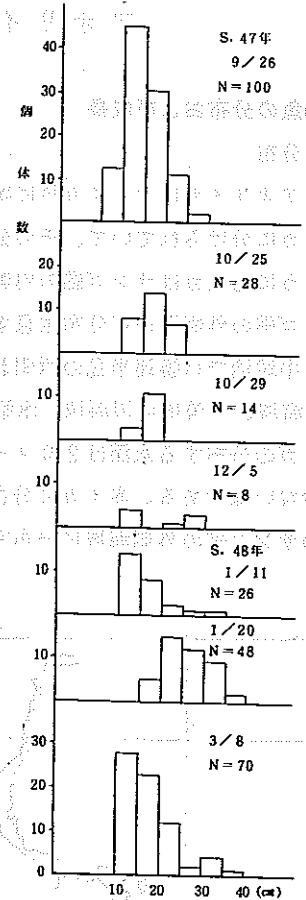
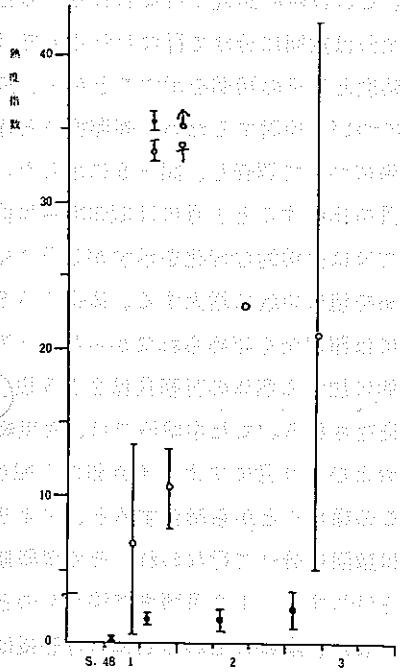


図-2 アオリイカの背套長組織の月別変化

表-1 アオリイカの生殖腺調査結果

調査年月日	調査個体数	背套長(cm)	体重(g)	生殖腺重量(g)	生殖腺熟度指数	平均値	輸卵管長(cm)	輸卵管重量(g)	交個体接数	
							輸卵管長(cm)	輸卵管重量(g)		
S. 48	6	♂ 2	18.10~20.60	2780~4690	0.29~0.39	0.45~0.49	0.47	61.40~64.10	0.59~0.65	
		♀ 4	19.50~31.20	4140~12900	0.49~30.50	0.66~13.71	7.60	2280~78.60	0.57~22.60	
1. 23	5	♂ 2	33.70~35.0	1.490.0~1.725.0	560~760	1.31~1.99	1.65	190.0~198.0	6.10~7.80	
		♀ 3	28.50~32.50	1.130.0~1.920.0	2130~4520	789~13.17	11.27	73.10~82.20	17.50~25.10	
2. 15	5	♂ 4	33.50~36.80	1.660.0~1.860.0	440~895	0.94~2.38	1.37	191.0~208.0	3.0~7.30	
		♀ 1	36.30	2.260.0	110.20	2.304	23.04	111.30	59.30	
3. 8	25	♂ 14	16.50~35.50	250.0~1.750.0	1.25~7.95	1.17~3.53	2.49	95.0~235.0	0.70~7.70	
		♀ 11	16.0~28.50	250.0~1.110.0	1.20~54.95	7.68~42.34	21.04	23.0~98.0	0.18~41.70	

図-3 アオリイカの生殖腺調査結果の月別変化



アオリイカの生殖腺調査結果を表-1、熟度指数(GW/L。×10⁴)の変化を図-3に示した。熟度指数は1月中旬♀0.66~1.771、平均0.760、♂0.45~0.49、平均0.47、1月下旬には、♀7.89~13.17、平均11.27♂1.31~1.99、2月中旬には、♀1個体で2.304、♂0.93~2.38で平均1.37、3月上旬には、♀7.68~42.34、平均21.04、♂1.17~3.53、平均2.49である。この結果からみると♀♂とも1月~3月にかけて熟度指数は次第に大きくなっている。また、アオリイカの産卵回数について検討するためその卵径を測定した。アオリイカの卵径頻度分布については図-4に示した。卵径については各個体より2~4卵を取り、ノギスで卵径を測定した。測定した結果を1.5mm以下、1.5~3.0mm、3.0~5.0mm、5.0~7.0mmおよび7.0mm以上に分けてその組成を求め図示した。それによると、1月上旬、下旬、3月とも1.5mm以下の占める割合が65~80%を示す。2月の測定個体は1個

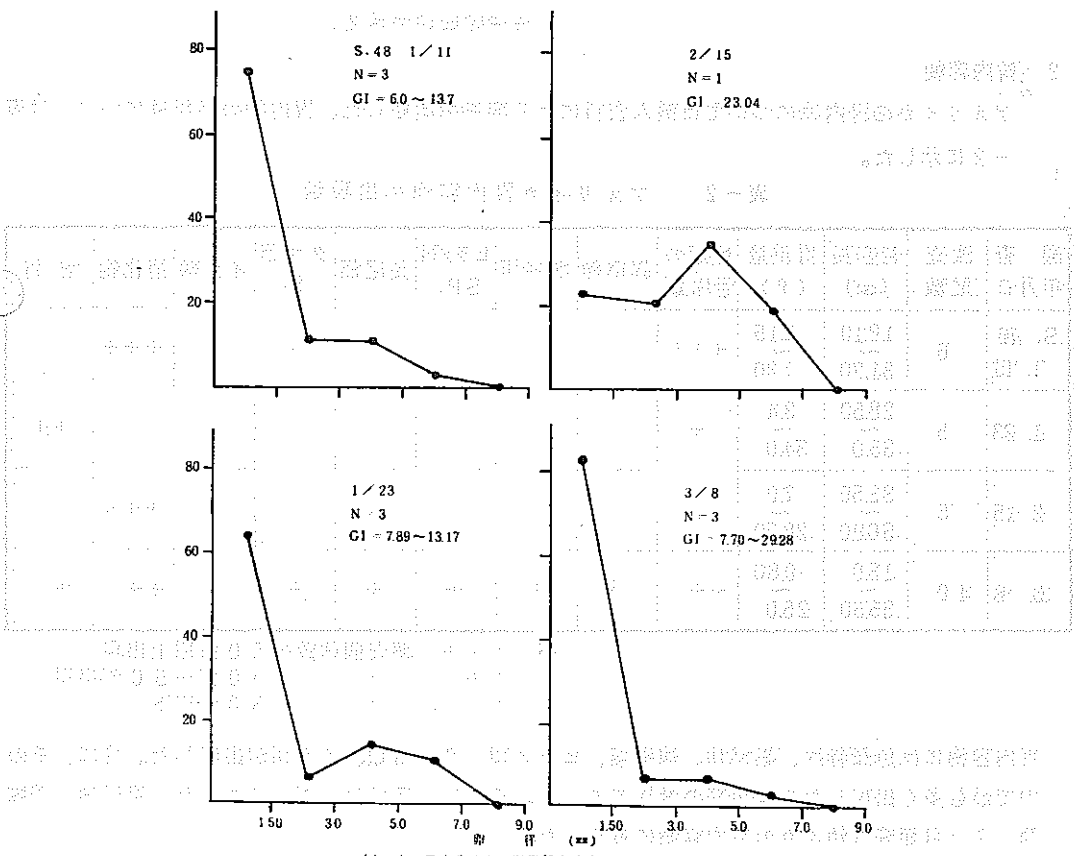


図-4 アオリイカの卵径頻度分布